

1. 科目名 (単位数)	日本の文化と言語Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	GECM1718 GECM1317 GECM1728 GECM1318
2. 授業担当教員	石山 哲也		
4. 授業形態	講義・演習・ディスカッション等	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	「日本の文化と言語Ⅰ」で養った日本語運用能力をさらにレベルアップすることを目指します。日本の文化や言語について、具体性のあるテーマやトピックを扱いながら、新聞や雑誌など、一般的な読み物に用いられる語彙に対する知識や意味的なまとまりごとの要点をとらえる読解力を養成していきます。本講義は、資料の読解、発表とディスカッション、作文、そして語彙・文法に関する小テスト等で構成されます。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一般的な読み物に用いられる語彙力や要点をとらえるための読解力を身につけ、実践することが出来る。</li> <li>2. 日本の文化・社会に関する具体的な問題を多角的に分析し、論点を明確にする能力を身につけることができる。</li> <li>3. 自分とは異なる文化背景を持つ人たちと協働する力を向上させ、具体的な日本の文化や言語の問題について、ディスカッションすることが出来る。</li> <li>4. 日本語の運用能力を一段階上へあげ、日本文化・言語に関する理解を深める。</li> </ol>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本の文化や言語についての理解度を確認するため、教科書pp. 159-168の内容確認問題に行う。</li> <li>2. 日本の文化や言語について、自分の立場から説明できるようになるために、授業内容に指示したTaskを実施する。</li> <li>3. 各回のTaskで取り組んだテーマのなかから一つを選び、期末レポートを作成する。</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・教材	佐々木瑞枝『クローズアップ日本事情 日本語で学ぶ社会と文化』ジャパンタイムズ、2017年		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一般的な読み物に用いられる語彙力や要点をとらえるための読解力を身につけ、実践することができたか。</li> <li>2. 日本の文化・言語に関する具体的な問題を多角的に分析し、論点を明確にする能力を身につけることができたか。</li> <li>3. 自分とは異なる文化背景を持つ人たちと協働する力を向上させ、具体的な日本の文化や言語の問題について、ディスカッションすることができたか。</li> <li>4. 日本語の運用能力を一段階上へあげ、日本文化・言語に関する理解を深めることができたか。</li> </ol> <p>○評定の方法：以下の点を総合して評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業への参加態度 総合点の30%</li> <li>2. 試験 (小テスト・期末試験、口頭発表による試験等) 総合点の30%</li> <li>3. 提出課題 (レポート等) 総合点の40%</li> </ol>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>この授業を通して、様々な日本の文化や言語に目を向けるきっかけを提供したい。アサインメント及びレポートについては、受講生の関心や状況に応じて、扱うテーマや分量などの調整を行う場合があるが、授業担当教員の指示に従って取り組んでほしい。</p> <p>なお、受講に際して、特に以下の点には注意すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 欠席、遅刻、早退など (不必要な退出も含む) せず、積極的に参加すること。</li> <li>2. 提出物、宿題は必ず提出すること。</li> <li>3. 授業での配布物はなくさないこと。</li> <li>4. 教科書は毎回必ず持参すること。</li> <li>5. 分からないことは、担当教員に必ず質問、確認をすること。</li> <li>6. 授業に関係のない私語はしないこと。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	授業内で周知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	授業概要の説明	事前学習	日本の文化と言語Ⅰで学習した範囲について、紹介できるようにしておく。
		事後学習	この授業での目標を文章にまとめてみる。
第2回	Unit 6 知っておきたい日本の歴史 Task B あなたの国の歴史と日本 (旧石器時代から安土桃山時代まで)	事前学習	教科書 pp. 68-69 の年表をみて、興味を持った時代について調べておく。
		事後学習	教科書 p. 67 Task B に取り組んでおく。
第3回	Unit 6 知っておきたい日本の歴史 Task E あなたの国の歴史と日本 (江戸時代から現代まで)	事前学習	教科書 pp. 72-73 の年表をみて、興味を持った時代について調べておく。
		事後学習	教科書 p. 71 Task E に取り組んでおく。
第4回	Unit 6 知っておきたい日本の歴史 内容確認問題	事前学習	教科書 pp. 53-76 を読み直し、p. 159 の内容確認問題に答えることが出来るようにしておく。
		事後学習	教科書 pp. 53-76 で身につけた語彙をまとめてみる。
第5回	Unit 7 伝統文化体験 Task A 短歌・川柳・俳句	事前学習	教科書 p. 78 を読み、和歌・俳句・川柳について説明できるようにしておく。
		事後学習	教科書 p. 79 の Task A に取り組んでおく。

第6回	Unit7 伝統文化体験 Task C 舞台見学のプラン作成	事前学習	教科書 pp. 80-82 を読み、歌舞伎や能楽について、説明できるようにしておく。
		事後学習	教科書 p. 82 の Task C に取り組んでおく。
第7回	Unit7 伝統文化体験 内容確認問題	事前学習	教科書 pp. 77-87 を読み直し、p. 160 の内容確認問題に答えることができるようにしておく。
		事後学習	教科書 pp. 77-87 で身につけた語彙をまとめておく。
第8回	Unit8 現代文化とポップカルチャー Task A・B あなたの国と日本のモバイル機器利用の状況について	事前学習	教科書 p. 91 の Task A・Task B に取り組んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 90-91 を踏まえ、あなたの国と日本のモバイル機器利用の状況の違いについて整理してみる。
第9回	Unit8 現代文化とポップカルチャー Task D あなたの好きな日本や自国の音楽について発表する	事前学習	教科書 p. 93 の Task D に取り組んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 92-93 を踏まえ、日本のポップカルチャーの特徴を整理してみる。
第10回	Unit8 現代文化とポップカルチャー 内容確認問題	事前学習	教科書 pp. 89-95 を読み直し、p. 161 の内容確認問題に答えることができるようにしておく。
		事後学習	教科書 pp. 89-95 で身につけた語彙をまとめておく。
第11回	Unit9 スポーツの楽しみ方 1 相撲	事前学習	教科書 pp. 98-99 を読み、相撲について説明できるようにしておく。
		事後学習	教科書 p. 98 Task A に取り組んでおく。
第12回	Unit9 スポーツの楽しみ方 3 世界で活躍する日本人選手、日本で活躍する外国人選手	事前学習	教科書 p. 101 を読み、世界で活躍する日本人選手、日本で活躍する外国人選手について説明できるようにしておく。
		事後学習	教科書 p. 101 の Task D に取り組んでおく。
第13回	Unit9 スポーツの楽しみ方 内容確認問題	事前学習	教科書 pp. 97-104 を読み直し、p. 162 の内容確認問題に答えることができるようにしておく。
		事後学習	教科書 pp. 97-104 で身につけた語彙をまとめておく。
第14回	Unit10 前進を続ける科学技術 1 日本の科学技術政策	事前学習	教科書 p. 106 を読み、日本の科学技術政策について、説明できるようにしておく。
		事後学習	教科書 p. 106 の Task A に取り組んでおく。
第15回	Unit10 前進を続ける科学技術 2 科学技術が生み出すイノベーション	事前学習	教科書 pp. 107-109 を読み、日本の科学技術の特徴を整理してみる。
		事後学習	教科書 p. 109 Task C に取り組んでおく。
第16回	Unit10 前進を続ける科学技術 内容確認問題	事前学習	教科書 pp. 105-112 を読み直し、p. 163 の内容確認問題に答えることができるようにしておく。
		事後学習	教科書 pp. 105-112 で身につけた語彙をまとめておく。
第17回	Unit11 地球のためにできること 1 地球温暖化防止に向けて	事前学習	教科書 p. 114 を読み、地球温暖化について説明できるようにしておく。
		事後学習	教科書 p. 115 の Task A に取り組んでおく。
第18回	Unit11 地球のためにできること 2 温室効果ガス削減への取り組み	事前学習	教科書 p. 115 を読み、温室効果ガス削減の取り組みについて説明できるようにしておく。
		事後学習	教科書 p. 116 の Task B に取り組んでおく。
第19回	Unit11 地球のためにできること 内容確認問題	事前学習	教科書 pp. 113-120 を読み直し、p. 164 の内容確認問題に答えることができるようにしておく。
		事後学習	教科書 pp. 113-120 で身につけた語彙をまとめておく。
第20回	Unit12 教育と子供たち Task A あなたの国の子どもの数	事前学習	教科書 p. 122 の Task A に取り組んでおく。
		事後学習	教科書 p. 122 を踏まえ、日本の子どもの数について説明できるようにしておく。
第21回	Unit12 教育と子供たち Task B あなたの国の時間割	事前学習	教科書 p. 124 の Task B に取り組んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 123-125 を踏まえ、日本の学校の特徴をまとめてみる。

第22回	Unit12 教育と子供たち 内容確認問題	事前学習	教科書 pp. 121-128 を読み直し、p. 165 の内容確認問題に答えることが出来るようにしておく。
		事後学習	教科書 pp. 121-128 で身につけた語彙をまとめておく。
第23回	Unit13 産業構造と経済 Task D	事前学習	教科書 p. 132 の Task D に取り組んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 130-132 を踏まえ、日本の産業の特徴をまとめてみる。
第24回	Unit13 産業構造と経済 内容確認問題	事前学習	教科書 pp. 130-136 を読み直し、p. 166 の内容確認問題に答えることが出来るようにしておく。
		事後学習	教科書 pp. 130-136 で身につけた語彙をまとめておく。
第25回	Unit14 政治と憲法 Task A 日本の憲法の特徴	事前学習	教科書 pp. 138-139 を読み、日本の憲法の特徴をまとめてみる。
		事後学習	教科書 p. 139 の Task A に取り組んでおく。
第26回	Unit14 政治と憲法 Task C 三権分立	事前学習	教科書 pp. 140-141 を読み、三権分立について、説明できるようにする。
		事後学習	教科書 p. 140 の Task C に取り組んでおく。
第27回	Unit14 政治と憲法 内容確認問題	事前学習	教科書 pp. 138-143 を読み直し、p. 167 の内容確認問題に答えることが出来るようにしておく。
		事後学習	教科書 pp. 138-143 で身につけた語彙をまとめておく。
第28回	Unit15 多文化共生社会を目指して TASK B 言葉や習慣の違い	事前学習	教科書 pp. 146-152 を読み、三権分立について、説明できるようにする。
		事後学習	教科書 p. 148 の Task B に取り組んでおく。
第29回	Unit15 多文化共生社会を目指して 内容確認問題	事前学習	教科書 pp. 146-152 を読み直し、p. 168 の内容確認問題に答えることが出来るようにしておく。
		事後学習	教科書 pp. 146-152 で身につけた語彙をまとめておく。
第30回	確認テスト・まとめ	事前学習	Unit6 から Unit13 を読み直し、pp. 159-168 の内容確認問題に答えることが出来るようにしておく。
		事後学習	この授業を通して理解を深めることが出来た日本の文化や言語について紹介文を作成してみる。